

## 令和元年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：学校法人城南学園 大阪総合保育大学

### 1. 事業の実績

#### (1) 事業目的

幼児教育の質の向上には、教員の資質能力の向上が重要であり、小学校以上と比較して離職率が高く若手教員が多い幼稚園の職場において、園内における人材育成の中核を担う中堅教員の育成は喫緊の課題となっている。特に、2019年10月から幼児教育の無償化が実施される予定である。幼児教育施設においては公的支援に見合った質の高い幼児教育を提供しているかどうか、これまで以上に社会的責任が求められることとなる。むしろ、保護者にとっての無償ということだけではなく、小学校の義務教育に近い子どもにとっての幼児教育の質保障を目指すことが重要と考える。このような状況下において、幼児教育の質の向上を図ることは不可欠である。教育職員免許法では、二種免許状を有する教育職員は一種免許状へ上進する努力義務がある。しかし、現状では、中堅教員ほど二種免許状の保有率が高いといえる。以上のことから、本学および大阪教育大学の教育機能を活用し一種免許状の取得機会を拡大することにより、中堅教員のキャリアアップ及び幼稚園教員の専門性の向上を図り、大阪府における幼稚園教諭の専門性の向上を図る。

#### (2) 事業概要 ※実施日程を必ず明記すること。

本事業は、大阪総合保育大学および大阪教育大学の指導のもと、6講座（12単位）を開講した。受講対象は、在職12年以上の者とし、講習は令和1年7月～9月（土曜・夏季休業期間）に実施した。実施にあたり、事前に大阪府および大阪市の私立幼稚園連盟、大阪府・大阪市国公立幼稚園長会、大阪府幼児教育センターを通じて、周知を行った。

講義内容については、同一科目を3人でオムニバスにし、特に、現場の実務経験者を講師に加え、より理論と実践の往還が図れるよう工夫を加えた。

実施詳細は下記の通りである。

No.	日時	開設科目名	科目の概要	講師名
1	7月22日(月) 9:00~18:00	健康領域指導法Ⅱ (H31 認定講習)	幼稚園教育要領に示された指導場面を想定した演習を行う。健康領域の要点を踏まえた実践指導ができるようになることを目指す。先行研究等から、現在の子どもの課題を学び、その問題について探究し実践する方法を身に付ける。	大阪総合保育大学 准教授 清田 岳臣
	7月23日(火) 9:00~18:00			学校法人ひじり学園 せんりひじり幼稚園 園長 安達 謙
	7月24日(水) 9:00~18:00			学校法人成城学園 幼保連携型認定こども園 日吉幼稚園 園長 水谷 豊三
2	7月25日(木) 9:00~18:00	人間関係領域指導法Ⅱ (H31 認定講習)	幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、幼児の姿と保育実践とを関連させて学び、理解を深める。幼児の発達にふさわしい主体的・対話的で深い学びを実現する保育を具体的に構想し、実践する方法を身に付ける。	大阪教育大学 教授 戸田 有一
	7月26日(金) 9:00~18:00			大阪教育大学 准教授 中橋 美穂
	7月27日(土) 9:00~18:00			大阪総合保育大学 講師 金重 利典
3	8月8日(木) 9:00~18:00	環境領域指導法Ⅱ (H31 認定講習)	領域「環境」は「周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」ための領域であり、好奇心・探究心の育成が重要である。そのため、子どもの発達に応じたねらい・内容の理解を深めるとともに、指導・援助、教材研究の方法を実践的に学び、身に付ける。	大阪総合保育大学 教授 瀧川 光治
	8月9日(金) 9:00~18:00			大阪総合保育大学 准教授 高根 栄美
	8月10日(土) 9:00~18:00			学校法人庄内神社学園 幼保連携こども園 庄内こどもの杜幼稚園 副園長 北島 孝道
4	8月22日(木) 9:00~18:00	幼児と言葉 (H31 認定講習)	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識等を身に付ける。	大阪総合保育大学 准教授 田窪 豊
	8月23日(金) 9:00~18:00			常磐会短期大学 准教授 中村 妙子
	8月24日(土) 9:00~18:00			大阪総合保育大学 教授 小椋 たみ子
5	8月26日(月) ~8月28日(水) 9:00~18:00	保育者論 (H31 認定講習)	「保育者とは何か」について諸側面から理解を深め学ぶ。保育者の協働や専門的成長について理解を深め、子どもへのかかわり方や地域社会とのかかわりや発達といった観点から学び、保育者の役割を身に付ける。	大阪総合保育大学 准教授 東城 大輔
6	9月7日(土) 9:00~12:15	表現領域指導法Ⅱ (H31 認定講習)	幼児の表現活動について保育者としての視点を持ちながら実践に向けた取り組みを学ぶ。遊びを通して行われていく側面を理解し、領域表現と他の領域の関係にも気づき、学びを深めながら幼児期の表現活動を支援するための知識や技能、表現力を総合的に身に付ける。	大阪教育大学 准教授 加藤 あや子
	9月7日(土) 13:00~18:00			大阪教育大学附属幼稚園 園長 小池 美里
	9月14日(土) 9:00~18:00			大阪総合保育大学 教授 手良村 昭子
	9月21日(土) 9:00~18:00			大阪総合保育大学 教授 松岡 宏明

### (3) 成果（事業の実績の説明）

本事業への申し込み人数は135名であり、その内、単位取得者は121名であった。そして10単位以上の取得者は96名となり、約8割の受講者が上進することが可能となった。この成果実績は想定内であり、事業成果としても評価に値すると考える。

指導大学：大阪総合保育大学・大阪教育大学          会場：大阪総合保育大学

講習人員(会場ごとの合計)：121名（実数）／544人（延べ数）

No.	免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設科目名	授与単位	講義・実験等区分及び時間数	成績審査の方法 ①合格に必要な出席時数 ②成績審査方法 ③評価段階 (合否区分)	受講者数	
		科目	各科目に含める必要事項					中心となる領域 含む領域	授与単位数(合計)
1	幼一種免	教科	言葉	幼児と言葉 (H31認定講習)	2	講義 30h	①24h以上 ②授業への参加度70%、 最終レポート30% ③60点以上を合格とする	107人 214単位	2
2	幼一種免	教職	環境領域指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	環境領域指導法 Ⅱ (H31認定講習)	2	講義 30h	①24h以上 ②授業への参加度70%、 最終レポート30% ③60点以上を合格とする	112人 224単位	4
3	幼一種免	教職	表現領域指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	表現領域指導法 Ⅱ (H31認定講習)	2	講義 30h	①24h以上 ②授業への参加度70%、 最終レポート30% ③60点以上を合格とする	107人 214単位	4
4	幼一種免	教職	人間関係領域指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	人間関係領域指導法 Ⅱ (H31認定講習)	2	講義 30h	①24h以上 ②授業への参加度70%、 最終レポート30% ③60点以上を合格とする	105人 210単位	4
5	幼一種免	教職	健康領域指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	健康領域指導法 Ⅱ (H31認定講習)	2	講義 30h	①24h以上 ②授業への参加度70%、 最終レポート30% ③60点以上を合格とする	100人 200単位	4
6	幼一種免	独自	大学が独自に設定する科目	保育者論 (H31認定講習)	2	講義 30h	①24h以上 ②授業への参加度70%、 最終レポート30% ③60点以上を合格とする	13人 26単位	2

受講者は、全員が熱心で、遅刻や欠席もほとんどなく、アンケートからも「充実感があった」と満足度が高かった。公立園からは「ようやく上進をうける機会が得られた」と喜びの声もあった。受講にあたり詳細を記した要項冊子を作成し配布したことや、各自の出席簿も別途作成し管理運営にあたったことも、受講者の啓発や満足度につながったと考える。

今回、夏季休業期間に実施したことが良かったと考える。なお、土日集中については、事前の検討会において園長会から反対があった。その理由として、仮に2学期になった場合、行事等と重なり、受講できない人が増える可能性があった。加えて、土日は預かり保育の実施があることや、教員等の休日として確保したいことがあるようだ。

運営にあたっては、出席管理やレポート課題の管理が厳密に行えた。トップツアーに申込業務を委託したことで、事務手続きの煩瑣が軽減された。特に、入金状況の確認作業が合理化できた。

#### **(4) 今後の課題・展望**

平成 31 年度に実施した本事業の課題および展望は、次の 3 点が挙げられる。

##### **1) 開講準備と受講者への周知**

文部科学省からの事業公募および決定時期、独立行政法人への上進講習認可申請など、開講に伴う準備や周知期間との関係が過密であった。次年度以降、準備や周知をどのように進めるのかという点が課題となる。

展望としては、今回、手探りで進める中で、大阪府および大阪市の国公立幼稚園長会、大阪府および大阪市の私立幼稚園連盟等、大阪府幼児教育センターからの協力が得られた。そこで、次年度も以降も、国公立幼稚園、私立の幼稚園・こども園と連携しながら、受講生への周知の迅速化を進めていきたい。

##### **2) 免許状上進の機会の拡大と講座の充実**

中堅教員の一種免許状保有率を上げるためにも、上進の機会を拡大することは必要となっている。そのため、開講日程の調整、受講料、講座内容などの工夫は課題となっている。

今年度は、事前に大阪府私立幼稚園連盟との調整の中で、夏季休業期間を中心に 6 講座開講ができたこともあり、上進可能となる人数も受講者の 8 割に上った。また受講料も、何科目受けても 5,000 円としたことで受講機会の拡大に貢献できた。なお事情により申し込みはしたが参加できなかった方には、全員資料を送付し、意欲の保持に努めた。さらに講座内容についても、オムニバスで講師を配置し、理論と実践の両面から講義を組み立てることやグループワークやアクティブラーニングを取り入れるなど工夫をおこなった。

次年度以降も、受講者の意見を参考に、上進の機会の拡大と講座の充実を図っていく。各授業アンケート項目と資料は、各講師が作成して実施した（ただし、講義によっては回収を行った）。

##### **3) 実施運営の工夫**

初年度の取り組みということもあり、準備、実施、報告まですべてにおいて手探りの状況であり、時間と手立てを要することばかりであった。しかしながら、大阪総合保育大学と大阪教育大学の協働、トップツアーズに参加費入金処理の委託をしたことにより、事業の成果も得られた。

次年度に向けては、今回の取り組みを基盤に、受講者への周知および確保、上進者の増加、円滑な運営を検討していきたい。そのためにも、両大学での連携、大阪府下の大学への協力要請なども試みていきたい。